平成 27 年度　岐阜工業高等専門学校シラバス

教科目名	インテリア設計Ⅰ	担当教員	藤田大輔		
学年学科	３年　建築学科	前期	必修	１単位	
学習・教育目標	（Ｄ－４）１００％				

授業の目標と期待される効果：

本授業の目標は、室内を構成している家具と室空間の設計能力を養うことである。室空間の設計能力は、インテリア設計士２級実技試験（日本インテリア設計士協会）と同程度の課題内容を課す。具体的には次に示す通りである。

①インテリア設計に関する企画力

②日常的に利用している家具や室内空間を意識したデザイン能力

③自らの意図を作品にする能力

④設計意図を説明する能力

成績評価の方法：

第一課題：１００点、第二課題：１００点、計２００点に占める得点率で評価する。 ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。

達成度評価の基準：

第一課題および第二課題を通して下記の達成度を基準とする

①課題の趣旨を理解し、企画を立てることができる（６割程度）

②創造的かつ整合性のある計画ができる（６割程度）

③デジタルツールを用いた美しい表現ができる（６割程度）

④的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる（６割程度）

授業の進め方とアドバイス：

1.授業の進め方

・各課題は、必要に応じてグループワークとすることがある。

2.アドバイス

・ 各自が作業計画を立て、提出期限を厳守すること。
・ 議論では建設的な意見を心がけること。
・ ＣＡＤ室等を活用して、積極的に情報機器を利用し、技能習得に努めること。
・ 各自が建築以外に興味のある分野と、家具や室空間の関係を考えてみること。
・ 雑貨や家具、空間等の機能とデザインの関わりを常に考え、作品を観ること。

教科書および参考書：

・日本建築学会編 コンパクト建築資料集成（丸善）

・各種建築・雑貨等の雑誌・書籍

授業の概要と予定：	AL のレベル
第１回：第一課題　室空間の設計：課題提示、趣旨説明	
第２回～第７回：設計の進捗状況チェックと指導	B
第１１回：第一課題講評会・第二課題　家具の設計：課題提示、趣旨説明	A
第１２回～第１４回：設計の進捗状況チェックと指導	C
第１５回　第二課題　講評会・フォローアップ（課題を返却し、評価方法の説明・講評を行う）	A

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	①課題の趣旨を理解し、企画を立てることができる（８割程度）	①課題の趣旨を理解し、企画を立てることができる（６割程度）	①課題の趣旨を理解し、企画を立てることができない
②	②創造的かつ整合性のある計画ができる（８割程度）	②創造的かつ整合性のある計画ができる（６割程度）	②創造的かつ整合性のある計画ができない
③	③デジタルツールを用いた美しい表現ができる（８割程度）	③デジタルツールを用いた美しい表現ができる（６割程度）	③デジタルツールを用いた美しい表現ができない
④	④的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる（８割程度）	④的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる（６割程度）	④的確に意図を伝えるプレゼンテーションができない